



しまなみコットンファームの園地で綿花を
収穫する児童＝21日午前、今治市高橋

しまなみコットンふわふわ「鎌倉シャツ」 今治で収穫祭

今治産オーガニックコットンを使った商品開発を手がけるメーカーズシャツ鎌倉(神奈川県)は21日、今治市高橋で収穫祭を開き、地元の日高小学校と今治南高校の計約110人が綿花約30キを摘み取った。同社は国産綿製品の拡大や環境負荷の軽減などを目指し、2023年から「しまなみコットンプロジェクト」を展開している。繊維が長く希少性の高い「超長綿」を国内各地で生産して製品化しており、24年秋に初めて販売した今治産コットンのドレスシャツは好評だったという。

同社と連携して生産を手がけるしまなみコットンファーム(加地敏勝社長)によると、5月に植えた綿花の生育は良好。児童生徒は実がはじけて白い綿があらわになった様子を珍しそうに観察し、繊維を傷めないよう丁寧に摘み取っていた。

日高小6年の中路遥花さん(12)は「ふわふわしていて気持ちの良い手触りだった。服ができあがったら着てみたい」と話した。

プロジェクトでは市内のメーカーとタオル製品の共同開発も進めており、シャツを含めて市のふるさと納税の返礼品への登録を検討している。(松本佑介)